



# 玉っ子だより

玉井小学校学校だより

令和6年6月14日発行

No. 5 文責：五十嵐

## 地域を学ぶ，地域から学ぶ ～ふるさとの人・自然とつながる～

本校の総合的な学習のテーマは、「おおたまの歴史、人、もの、ことに自ら関わって学び、世界につなげよう」です。その大テーマを受け、3年生では「ふるさとの人・自然とつながる」、4年生では「ふるさとの人・地域とつながる」、5年生では「ふるさとの人・伝統・暮らしとつながる」、6年生では「ふるさとの人・過去・現在・未来とつながる」のテーマを設定し、地域の教育資源を効果的に活用しながら学習を進めています。先日は4年生が、あだたらの里直売所店長であり、本村コミュニティ・スクール委員長でもある矢吹様を講師としてお招きし、本村の米作りや直売所の仕事の内容、工夫や努力について教えていただきました。また、3種類のお米の「きき米」も体験させていただきました。子どもたちは、北海道産「ゆめぴりか」秋田産「あきたこまち」大玉村産「福笑い」を試食し、たくさんのお米が、見事に「福笑い」を当てることができました。さすがは、おいしいお米の産地大玉村の子どもたちです！心に残る貴重な体験活動でした。



おむすびマン登場！



う～ん、これだっ！

そして、これから5年生は地域の伝統文化である「田植踊」を6年生から引継ぎ、地域の文化を継承します。随分と昔の話になりますが、受講した研修会で講師の先生から、「ふるさとに対する愛着・愛情・誇りをもっている子ども（人間）は、人生の課題に直面したときにも踏ん張りがきき、粘り強く、どんな状況でも『自分』をしっかりとつとめることができる。」というお話をうかがったことがあります。自分のこれまでの経験からも人間の核となる部分を育む過程において「ふるさと」の存在は大きいものであると実感しています。

将来、大きく広い世界に羽ばたく子どもたちの胸に、いつまでも「ふるさと玉井」が息づいて、自分らしさやよさを発揮し自己実現ができるように、そして、「地域に対する愛着・誇り」が高まるような教育活動をさらに工夫していきたいと思えます。

### 南達方部小学校交歓陸上競技大会

5月31日（金）には、終始小雨が降るあいにくのコンディションの中でしたが、南達方部小学校交歓陸上競技大会が開催され、6年生が日頃の練習の成果を発揮しました。入賞者を紹介します。



#### 【男子】

#### 【女子】

100m走	第4位	15"92	80mハードル	第1位	16"02 <u>大会新</u>
80mハードル	第1位	15"11 <u>大会新</u>	//	第2位	16"80
//	第4位	16"53	走り幅跳び	第6位	269cm
走り幅跳び	第5位	314cm	走り高跳び	第4位	108cm
走り高跳び	第1位	113cm	ソフトボール投げ	第2位	28.70m
//	第3位	110cm	//	第5位	23.29m
1000m走	第6位	3'48"38	800m走	第3位	3'01"70
			//	第5位	3'03"85
男子リレー	第3位	6年2組 1'03"55 (		)	
女子リレー	第5位	6年2組 1'06"22 (		)	

6/29 あだたら健康マラソンもがんばろう！

